

いちご栽培管理 (H30.9.)

(有) 丸 富

8 月は高温干ばつで、台風が連続到来して、各地で甚大な被害が生じた。盆明け後、少しは涼しくなったものの、酷暑は変わらず干ばつ傾向が続いた。涼しくなって害虫の発生が増え、病害もやや増えた。

花芽分化促進

遠日点では花芽分化しにくく、花芽がばらつきやすい。特に遠日点の新月頃は花芽分化が進みにくい。徒長予防と花芽分化促進に**カルスター 2g/ポット**と**ジャストマグ 2g/ポット**を置き肥する。充実促進に**天地の恵み 500 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を定植 15 日前から定植まで 5 日毎に灌注する。花芽分化促進に**時を越えた贈り物 500 倍**と**サンミネーラ 1,000 倍**を定植 10 日前から 3 日毎に散布する。

活着促進

イチゴは定植後の活着次第で決まる！と言っても過言ではない。定植後の活着（根張り）がとても大切。定植前日に**笑顔 1,000 倍**(又は**天地の恵み 500 倍**)と**サンミネーラ 10,000 倍**を散布（又は散水）する。定植後に**天地の恵み**(又は**バイオシャイングリーン**)**500 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を花芽分化後 10 日以内に、2 回灌注（又は灌水）する。

害虫対策

満月頃はヨウムシやダニ、アザミマなどが盛んに繁殖する。害虫の動向を注意深く観察する。害虫対策に**バイオアクト TS 2,000~3,000 倍**を散布又は防除時に適宜混用する。灌注による害虫対策に**バイオアクト TS 50~70 cc/10a**を 5~7 日毎に灌水する。

低気圧(酸性雨)対策

東シナ海の西を回ってくる台風や低気圧は、酸性雨を伴うことがあるので注意する。酸性雨に対する事前対策として**K-40 1,000~2,000 倍**と**サンミネーラ 1,000~2,000 倍**を雨（低気圧）の前後に葉面散布する。

発根促進

定植後、早期に発根促進して、株の充実を図る。根の働きを活発にすると同時に、酸素供給を行う。発根と細根の維持に**発根力 1,000 倍**と**GバランスDF5,000 倍**を 1 ヶ月毎に灌注する。

追肥(液肥)

一般的に肥料を切る花成誘導期（花芽分化前 20 日頃）～花芽分化まで、窒素低下によって芽なし株やそうしん株の発生が多くなる。C/N 率を上げて花芽分化させると、前述のような株が減少する。

天地の恵み(又はバイオシャインフルーツ)	500 倍	} 5 日毎に灌注する。
サンミネーラ	5,000~10,000 倍	
バイオアクト TS	3,000~5,000 倍	

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 5,000 倍、海藻のエキス 5,000 倍、イロクグリーン(微量要素) 1,000 倍でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)